

博 修 士 会 会 報

Alumni Bulletin For K.U.Masters and Doctors

2021年7月1日発行

▲昭和3年完成の旧図書館（現 簡文館）



ごあいさつ

関西大学博修士会会長 北嶋 弘一

コロナウイルスの感染症が依然終息を見ない中、大学の授業にオンラインを活用するよう要請され、新学期から対面授業を始めた途端の変更によって、教員・学生両者に大きな負担を課しています。その上、緊急事態宣言の発令や延長に伴って経済活動の混乱をきたすとともに国民生活にも大きな影響を及ぼしており、学生諸君の就職活動に対しても様々な混乱を招いておりますが、博修士会の皆様には恙なくお過ごしのことと存じます。

関西大学博修士会は、1952(昭和27)年の設立以来、本年度創立70年目を迎えます。会員の皆様には、コロナ禍にめげず各界において活躍のことに伴って、本会の活動に対しましては心温まるご助言や特別協力金のご寄付など数々のご支援ならびにご協力を賜り心より感謝申し上げます。

大学院創立以来これまでの修了者および学位取得者の総数は23,300名を超え、本会は校友会(約48万名)の中においても大所帯の同窓会組織として発展を遂げるに至っております。今日の関西大学大学院は、法学、文学、経済学、商学、社会学、総合情報学、理工学、外国語教育学、心理学、社会安全、東アジア文化、ガバナンス、人間健康の13研究科博士課程前期課程と同後期課程および法務、会計の2専門職学位課程の計15研究科を擁する我が国屈指の大学院に発展、充実しております。

去る3月22日に行われました学位記授与式は、コロナウイルス感染症の拡大防止のために各研究科に分散して全体の式典をリモートで中継しつつ実施されました。492名の修士と

76名の専門職を合わせた568名の修了生および37名の博士の計605名を本会の新たなメンバーとして迎えるとともに、昨年9月期の学位記授与式では19名の修士と7名の専門職の計26名の修了生および16名の博士を迎えました。さらに、4月2日に実施された入学式も学位記授与式と同様各研究科に分散されて開催されましたが、15研究科785名および昨年の秋学期入学生28名を加えた813名のフレッシュな学生会員を迎え、創立135年目を迎えた母校の学問の中核として更なる発展の一翼を担っていただくことを大いに期待するものであります。

来る7月31日(土)に2021年度関西大学博修士会総会・学術講演会をリモートを併用して開催する予定です。総会後の学術講演会では2020年度の文部科学大臣賞を受賞された本学名誉教授(システム理工学部)の多川則男先生を講師にお迎えして、「生み出されるデータ量の爆発的増加とハードディスクの高密度大容量化について」と題して、本学千里山キャンパス第2学舎1号館A503教室においてご講演いただきます。なお、このような状況を鑑み、学術講演会後の懇親会は中止させていただきます。

会員の皆様におかれましては、コロナウイルス感染症の多大な影響の残る中で何かと大変なことは存じますが、万障お繰り合わせの上是非ともご出席戴き講師の多川則男先生とともに会員同士親しく懇談していただきますよう心よりお待ちしております。

2021年度 総会・学術講演会・懇親会のご案内

日 時：2021年7月31日(土) 12:30より受付開始
場 所：関西大学千里山キャンパス、第2学舎1号館5階：A503教室
内 容：第1部：総 会 13:00～14:00 A503教室
第2部：学術講演会 14:00～15:00 A503教室
演 題：「生み出されるデータ量の爆発的増加とハードディスクの高密度大容量化について」
講 師：多川 則男(たがわ のりお)先生
(関西大学名誉教授)
2020年度文部科学大臣表彰 科学技術賞(研究部門)
※懇親会：新型コロナ感染症対策のため中止とさせていただきます。

総会・講演会参加者：会員+会員の紹介者に限定(事前申込制：郵便振替とする)

会 費：会員と同伴者は3,000円、院生会員は無料(e-mail・QRコードで申込)

お 願 い：ご出席の方は、7月26日(月)までに、事前に郵便振替でお申し込み下さい。なお、総会・講演会はマスク着用でご参加下さい。

ZOOMで参加される場合も会費納入が必要です。

■郵便振替：00900-2-68733
関西大学博修士会：
通信欄に「総会費」など
ご記入下さい。

■問合せ先：博修士会総務部
■FAX：075-331-6647

■e-mail：kandaimd@muse.ocn.ne.jp
(総務部：中原 宛)



■はがき：〒610-1102
京都市西京区御陵大枝山町6-14-6
博修士会総務部長：中原住雄



関西大学名誉教授

多川 則男 先生

総会・講演会のライブ中継(ZOOM)に関するご案内

総会・講演会の模様をご自宅等でご視聴いただけるよう7月31日(土)13時よりZOOMを用いたインターネット配信によるライブ中継を行います。ネットで参加をご希望の場合も、事前登録が必要となりますので、e-mail又はQRコードをご利用の上、7月26日(月)までに手続きをお願いします。締め切り後、参加に必要な情報をメール等でお知らせします。

会員からのメッセージ

社会人枠の課程博士を取得して



黒柳 信之
(2021 博 理工学研究科)

本年度の学位記授与式はコロナ禍により挙行されるのだろうかかと心配いたしました。3月22日、前田学長をはじめとした諸先生方、芝井理事長など学校法人の方々、また、ご来賓の皆様のご列席を賜り、開催して頂くことができました。例年の授与式よりかなり簡素化されたとのことですが、出席授与者全員が一人一人壇上に上がり、前田学長より学位記を直接手渡して頂きました。自分の名前が呼ばれ、壇上に上がる時にはいよいよこの時が来た感慨無量でした。それは、私は関西大学ではなく某地方の大学院の出身ですが、修士課程を修了した時、いずれチャンスがあれば博士も取りたいという想いをずっと持ち続けていたからです。しかし、社会人枠で博士課程を受験するチャンスが来た時は、既に62才になろうという時で、自分の年齢や仕事と研究が両立するのかなど、色々迷いました。結局、その想いは捨てきれなく入学試験を受けることにした次第です。

私は長年住宅メーカーにおいて基礎・地盤に関する研究・技術開発に携わってまいりました。そこで、入学後は建築基礎工学研究室の伊藤淳志先生のご指導の元で、住宅に特化した杭基礎の研究に取り組むこととなりました。しかし、入学後間もなくして熊本地震が起り、また、その後の毎年起きる集中豪雨などの住宅損壊対応のために時間を割くことが度々あり、ジレンマを感じる連続でした。そのうえ、論文作成のため有限要素法や画像相関法による解析技術を、新たに“年甲斐もなく”習得しなければなりません(意外とやれば出来るものです)。最終的には5年半かかってしまいましたが、この間、先生の根気よく熱心なご

指導により、一つ一つ課題を解決し乗り越えることができました。この博士号が取得できたのも先生や研究に協力して頂いた方々のおかげだと深く感謝しています。今後は、社会貢献の方法を探っていきたいです。

関西大学での5年半は多くのことを経験しました。4年生と一緒に卒論の実験をし、食事や飲み会にも行ったりしました。若い連中と付き合っていると自分も若くなったような気がし、活力が湧いてきました。また、会社での研究は実験、解析、そしてその結果から最も経済的で利益を生み出すためのものです。しかし、大学院での研究は実験、解析、まで同じとしても、その先は理論の構築とその検証というように、真実の追求だと思います。おそらく、社会人枠で博士課程に進まれた方は私と同様に戸惑いを感じられるでしょう。この「真実の追求」ということを是非忘れないでください。

私は、人はいつまでも挑戦する気持を持ち続けることが大切だと思っています。私が若い時に抱いた「博士号を取る」という想いのようにいつかは必ず実現できます。博士号取得への挑戦をしようとする方々にエールを送りたいと思っています。

本学での学びを終えて



伊藤 孝太
(2021 修 理工学研究科)

本学大学院での学びを通して、自身の成長の機会となった研究活動および実験・実習等を支援するTA(ティーチングアシスタント)の活動について述べたいと思います。

研究活動では、社会の第一線で活躍されている先輩方をはじめ、異なる研究課題に取り組む学友たち、そして、価値観や文化の異なる留学生との多くの出会いがありました。私は人々の生活、産業を支える電気機

器や近年注目されているIT技術に興味があり、本学では電気電子、情報工学を専攻しました。リニアステッピングモータを用いた磁気浮上搬送システムに関する研究に取り組み、実験装置、回路の設計からプログラミングコードの作成までの一連のプロセスを通して、ハード、ソフト両分野の知識の習得に励みました。また、学会や研究会など対外的な発表を経験することができ、他大学の先生方や企業の方との議論を通して自身の見識を深めることができました。特に、2019年にスイスで開催された国際学会では海外の研究者と意見を共有することができ、貴重な経験となりました。一方で、英語での受け答えに苦戦し、自身の語学力のなさを痛感しました。私を含め多くの学生は、受験勉強を通して英語の「読む・聞く」能力は習得してきましたが、「話す・書く」能力が欠如していると感じます。そのため、なるべく早い段階でコミュニケーションに特化した英語学習の機会を持つことが重要であると考えます。本学では、英語でプレゼン発表を行う講義や学科独自の留学プログラムなど、グローバル化に向けた取り組みが盛んに行われています。コロナ禍で現地に行けない状況ではありますが、大学が提供しているツールを活用し国際経験を積むことは有効な手段

の一つであると考えます。

本学では、学生が主体となって日々の授業運営を支援するSA(スチューデントアシスタント)、実験・実習等を支援するTAといった制度があります。私は、学部生の電気実験を補助するTAとして大学院の2年間活動し、指導者としての経験を積めたことや、教員の方々と対等な立場で意見を共有する貴重な経験を積むことができました。後輩の皆さんにはぜひ、SAやTA等の教育活動に積極的に関わり、自身のキャリア形成の場として活用するとともに、より良い授業を築き上げるための一翼を担ってほしいと思います。

昨年度は、新型コロナウイルスの影響によりオンライン形式での就職活動、ゼミナールなど、通常とは異なる形式に順応することに苦戦しつつも、無事に修了を迎えることができました。これもひとえに、ご指導、ご支援していただいた先生方、事務的な面で支えて下さった職員の皆様、支え合い励まし合ってきた友人たち、そして温かく見守り支え続けてくれた家族のおかげです。本学で培った知識や技術、精神を元に、変化を恐れず常に挑戦し、社会に貢献できるよう精進して参ります。

博修士会からのお願い

郵便振替 00900-2-68733 関西大学博修士会

特別協力金のご協力をいただきました会員の皆様にお礼申し上げます。会の財政が逼迫しておりますので、本年度も引き続きご協力をお願いいたします。1口1,000円、できれば2口以上お願いいたします。また、終身会費15,000円を未納の方は、納入をお願いいたします。

特別協力金納入者名簿 (五十音順、敬称略) (2020年4月1日~2021年3月31日)

天 井 一 夫	網 本 浩 幸	岡 本 哲 和	緒 方 正 則	小 幡 齊
川 西 進	北 川 勝 彦	北 嶋 弘 一	北 村 英 子	桑 田 順 市
後 藤 安 子	小 西 大 輔	竿 田 嗣 夫	笹 倉 淳 史	早 苗 良 雄
篠 塚 義 弘	澁 谷 大 輔	神 保 敏 明	田 中 義 信	椿 信 二
富 田 好 久	中 橋 久 史	中 原 住 雄	西 座 新 二	羽 間 弘
羽 生 和 子	濱 谷 美 綺	東 村 高 良	飛 田 篤	平 野 裕
藤 井 昭 三	前 田 裕	松 本 始	真 部 和 義	水 野 一 郎
明 神 信 夫	村 中 徳 明	森 下 明	山 本 秀 樹	山 本 善 章
吉 松 儀 久	横 田 伸 敬	横 山 清 美		

大学院ニュース

Graduate School News



商学研究科における 新プログラム開設などの取り組み

商学部副学部長（大学院担当） 教授 石田 和之

商学研究科では、2つのコースを設けて、研究者と高度専門的な職業人の育成に取り組んでいます。この度、高度専門的な職業人を育成するためのコースで、入試制度や教育プログラムの改革を行いましたので、ここで紹介させていただきます。

1. 入試制度の改革

商学研究科前期課程（修士課程）の入試には、学内進学試験、一般入試、外国人留学生入試、社会人入試、5年一貫教育プログラム（早期卒業）があります。このうち、学内進学試験と社会人入試で、より多くの皆さんが受験しやすくなるよう、出願資格などを緩和しました。

学内進学試験では、商学部を卒業見込みで、一定の基準を上回る成績の学生に出願資格を認めています。これまで、高度専門職養成コースへの出願では、成績基準としてGPA2.7以上の者としていましたが、ここに税理士試験一部科目合格者、公認会計士試験短答式試験合格者、日商簿記検定試験1級合格者を追加しました。税理士などの高度専門職を目指している商学部生のみなさんにとって、より商学研究科に進学しやすくなりました。

社会人入試では、専門科目試験の免除の要件を緩和しました。これまで、公認会計士、税理士の資格を有する場合に専門科目試験を免除していたところを、公認会計士試験短答式試験合格者、税理士試験一部科目合格者、日商簿記検定試験1級合格者を追加しました。これによって、たとえば、税理士事務所などで働きながら税理士試験の5科目合格を目指している一部科目合格の方には、より商学研究科を受験していただきやすくなりました。

2. タックス&アカウンティング・ストラテジー・プログラム (TASプログラム) の開設

商学研究科では、データサイエンティスト育成プログラム (DSプログラム) やグローバル・リテイリング・プログラム (GRプログラム) を設けて、実践的な知識をもつ高度専門的な職業人の育成に取り組んできました。この度、ここに新たなプログラムとして、タックス&アカウンティング・ストラテジー・プログラム (TASプログラム) を開設しました。

TASプログラムは、主には税理士試験の科目免除の申請を希望する方を対象にしたプログラムです (科目免除の申請を希望しない場合でも参加可能です)。このプログラムでは、科目免除の申請に備えて、税法や会計学に関する科目を専門とした課題研究論文の作成指導を行います。さらに、将来、税務や会計に関する高度専門的な職業人として活躍することを想定して、税理士事務所でのインターンシップやワークショップなどの機会を設けています。これまでも商学研究科では税理士試験の科目免除の申請を希望する学生を受け入れてきましたが、このプログラムによって税務と会計の両方を学ぶ機会を設け、より一層、実践的で高度な知識を体系的に学ぶことができるように配慮しています。

以上、商学研究科の取り組みをご紹介させていただきました。商学研究科では、今後も社会の期待に応えることができるよう取り組みを進めていく所存でございます。博修士会の先生方のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

先輩から



米国公認会計士の道へ

— 監査法人でまだ勉強中 —

張 宏武 (2020 博 商学研究科)

私は大学(中国の東北財経大学)の専攻が情報管理であったが、米国公認会計士(以下、U.S.CPA)を目指して、2011年に関西大学会計専門職大学院に進学し、2013年に卒業を迎えた。残念ながら在学中にU.S.CPAの試験に合格できなかった。原因としては次の2つにあると考えている。一つ目はこの試験が元々会計専門の経験者を対象に設けた試験で、基礎知識を持っていない他専攻の在学学生にとってはかなり難易度が高い。もう一つは受験重視で数式等を丸ごと暗記していただけで、理論知識への理解が浅かった。

基礎知識や業界への理解をより深めようと考え、会計専門職大学院を卒業後、商学研究科博士後期課程に進学し、水野先生の研究室に所属した。水野先生の研究室で、理論知識を深めただけではなく、企業見学を通じて異なる経営モデルについての理解も深めた。水野先生の研究分野は人本主義経営であるため、先生のもとで異なる経営理念を持っている企業を知ることができた。そういった企業見学を通して自分の視野を広げたことが明らかだった。長野県のある寒天を作る食品メーカーを例として挙げてみよう。この企業の経営理念は年輪経営で創業以来48年連続増収増益を達成できた。企業の経営目的は売上、利益目標の達成ではなく、社員とその家族の幸せを追求するものであった。私はこの企業の経営にとても感心した。

また、水野先生のご紹介で非常勤講師として2年間ほど、簿記を教えることができた。これは非常にいい経験だった。簿記を教えることによって、今まで覚え

た知識への理解を深めたし、とても勉強になった。また、教えることが学生とのコミュニケーションも必須なので、コミュニケーション能力も上げられた。ほとんどの学生と同じように、アルバイトをしながら学業もあり、U.S.CPA受験にも励まないといけないため、両立することが難しかった。しかし、失敗を恐れずに目標に向けてひたすら努力したおかげで、水野先生の研究室に在学中の2018年ようやくU.S.CPA試験に合格した。そこで、水野先生と相談し、休学して就職することに決めた。これは私にとって大きな決断だった。博士後期課程の単位は取得済であるため、博士の学位はもちろん取りたかったが、一刻も早く勉強した理論を実践してみたかった気持ちが勝った。

そこで公認会計士として外資系の監査法人(PwC京都監査法人)に勤務し始めた。メインの仕事内容は上場企業に対する監査業務である。最初、一番感じたのは学校で勉強した理論知識や受験で覚えた内容をいざ実践で試そうとしたら、大きな違いがあった。先輩方のご指導や自己研鑽でなんとか今に至った。監査の仕事なので、毎年4月、5月頃は一番忙しい時期である。コロナ禍でリモートワークになり、その忙しさは更に増した。去年の3月から現在まで、やむを得ずクライアントへの往査が中止になり、リモートでのコミュニケーションが普段より難しくなり、コミュニケーション能力がいかに重要なのかしみじみに感じた。

会計士としての仕事はまだ2年ほどしかない。今後も引き続き自己研鑽し、模索していくつもりである。

総会議案書

〈第1号議案書〉

2020年度事業報告

2020年4月1日から

2021年3月31日まで

[1] 総会に関する事項

2020年度 総会・学術講演会

開催日時：2020年8月1日(土) 13:00～

開催場所：関西大学千里山キャンパス第1学舎4号館2階：

古文書実習室

来賓：芝井 敬司 関西大学 学長
田中 義昭 関西大学校友会 副会長
小谷 寛子 女子秀麗会会長
三木 允子 女子秀麗会顧問

◇第1部 総会 13:00～14:30：古文書実習室

- (1) 2019年度事業報告
- (2) 2019年度収支決算および監査報告
- (3) 2020年度一般会計収支予算案
- (4) 役員改選（～2022年総会迄）
- (5) 会則改正・文言修正

◇第2部 学術講演会 14:30～15:30：古文書実習室

演題：「Brexit なぜ、何のため—イギリスおよびEUへの影響は」
講師：辰巳浅嗣 阪南大学名誉教授（元学長）、
日本EU学会名誉理事（元理事長）

◇第3部 懇親会 新型コロナウイルス感染症対策のため中止

[2] 役員会に関する事項

◇理事会

- ・2020年4月6日(月) 12:00～
新関西大学会館南棟4階 チルコ口の予定を急遽中止、e-mail
審議に切り替え。
(2020年度総会・学術講演会・会報発行計画・決算・予算の件、
その他)

◇常任理事会

- ・2021年2月22日(月) 14:00～
文書配布による、持ち回り常任理事会
(2021年3月期修士記授与式、入会案内・入会受付手続き・記
念写真撮影に関する件、2021年度総会・学術講演会・会報発
行計画、会計中間報告等)

[3] 会報発行に関する事項

- ・2020年7月1日(水)
「会報2020年号」を編集・発行（広報部）

◇その他

- (1) 2020年4月2日(木)
 - ・大学院入学式、(各研究科所在のキャンパスにて分散開催)
(式典中止)
院生会員への勧誘資料配布(学長課に取りまとめ依頼)
- (2) 2020年6月13日(土)
 - ・校友会第115回定時代議員会(関西大学100周年記念会館：
新型コロナウイルス感染症対策のため会場開催中止) 書面決
議にて参加 (会長コーナ)
- (3) 2020年10月18日(日)
 - ・2020年度校友会総会(関西大学BIGホール100)(ライブ動
画配信) ネット参加
- (4) 2021年1月23日(土)
 - ・校友会臨時(第116回)代議員会(関西大学100周年記念
会館) (出席せず議案回答書送付で対応) (会長コーナ)
- (5) 2021年3月22日(月)
 - ・大学院学位(修士・専門職)記授与式
(各研究科所在のキャンパスにて分散開催)(式典中止)

- ・新会員の入会勧誘資料配布(学長課に取りまとめ依頼)
- ・記念写真撮影(式典取止めのため中止)

2020年度 入学	4月	9月	2020年度 学位授与	9月期	3月期
前期課程	553	17	前期課程	19	492
後期課程	70	11	後期課程	13	31
			論文博士	3	6
専門職課程	82	—	専門職課程	7	76
(会計:50名、法務:32名)			(会計:38名、法務:14名、心理学:24名)		

〈第2号議案書〉

2020年度収支決算報告書

一般会計収支決算書

自 2020年4月1日

至 2021年3月31日

(収入の部)

(単位：円)

項目	予算額	執行額	差引差額
経常収入	830,100	397,001	433,099
1. 会費収入	300,000	108,000	192,000
① 正会員入会金収入	60,000	0	60,000
② 院生会員入会金収入	240,000	108,000	132,000
2. 事業収入	180,000	0	180,000
① 総会会費収入	150,000	0	150,000
② 広告料収入	30,000	0	30,000
3. 雑収入等	50,100	16,001	34,099
① 雑収入	50,000	16,000	34,000
② 受取利息	100	1	99
4. 特別協力金等	300,000	273,000	27,000
特別協力金収入	300,000	273,000	27,000
前期繰越金	566,718	566,718	0
合計	1,396,818	963,719	433,099

(支出の部)

(単位：円)

項目	予算額	執行額	差引差額
経常支出	1,143,000	803,241	339,759
1. 一般管理費	223,000	100,471	122,529
① 通信費	50,000	18,450	31,550
② 事務用消耗品費	80,000	65,480	14,520
③ 支払手数料	13,000	16,541	▲3,541
④ 雑費	80,000	0	80,000
2. 会議費	280,000	36,420	243,580
① 総会費	200,000	36,420	163,580
② 諸会議費	80,000	0	80,000
3. 事業費	640,000	666,350	▲26,350
① 印刷費	500,000	580,650	▲80,650
② 修士記授与記念写真費	100,000	0	100,000
③ 記念品費	40,000	85,700	▲45,700
予備支出	30,000	100,000	▲70,000
予備費	30,000	*100,000	▲70,000
当期支出合計	1,173,000	903,241	269,759
次期繰越金	223,818	60,478	163,340
合計	1,396,818	963,719	433,099

*「新型コロナウイルスに係る緊急奨学支援金」への寄付金(理事長会で承認済)。

総会議案書

特別会計収支決算書

奨学金特別基金

自 2020年4月1日
至 2021年3月31日

(単位:円)

収入の部	金額	支出の部	金額
前期繰越金	1,204,979	次期繰越金	1,204,989
受取利息	10		
合計	1,204,989	合計	1,204,989

名簿特別勘定

自 2020年4月1日
至 2021年3月31日

(単位:円)

収入の部	金額	支出の部	金額
前期繰越金	853,586	次期繰越金	853,594
一般会計より入金	0		
受取利息	8		
合計	853,594	合計	853,594

財産目録

2021年3月31日現在

(資産の部)

(単位:円)

科目	摘要	金額
普通預金	一般会計収支(りそな/難波)	7,238
振替貯金	一般会計収支 (ゆうちょ/大阪事務センター)	36,389
通常貯金	一般会計収支 (ゆうちょ/大阪事務センター)	16,851
小計		60,478
普通預金	特別会計 奨学金特別基金用 (りそな/難波)	1,204,989
普通預金	特別会計 名簿特別勘定用 (りそな/難波)	853,594
合計		2,119,061

(負債及び正味財産の部)

(単位:円)

科目	摘要	金額
正味財産	次期繰越金	2,119,061
合計		2,119,061

監査報告書

関西大学博修士会
会長 北嶋 弘一殿

私たちは、2020年4月1日から2021年3月31日に至る一般会計収支決算書、奨学金特別基金および名簿特別勘定の特別会計収支決算書、ならびに財産目録について監査を実施いたしました。

監査の結果、上記決算書類は、適正なものであることを認めます。

ただ、本会の財務状況は極めて深刻です。会費収入の確保と事業費の圧縮、特別協力金依存からの脱却、特別基金の取り崩しなど、本会の存続のための抜本的な対策のご検討を要請いたします。

2021年5月24日

監事 竿田 嗣夫 (印)

監事 水野 一郎 (印)

監事 吉城 唯史 (印)

<第3号議案書>

2021年度一般会計収支予算(案)

自 2021年4月1日
至 2022年3月31日

(収入の部)

(単位:円)

項目	予算額	摘要
経常収入	970,100	
1. 会費収入	420,000	
① 正会員入会金収入	60,000	正会員入会見込 15,000円×4人
② 院生会員入会金収入	360,000	院生会員入会見込 12,000円×30人
2. 事業収入	120,000	
① 総会会費収入	90,000	総会出席見込 3,000円×30人
② 広告料収入	30,000	広告掲載見込 10,000円×3件
3. 雑収入等	30,100	
① 雑収入	30,000	お土産料
② 受取利息	100	預金利息等
4. 特別協力金等	400,000	
特別協力金収入	400,000	
前期繰越金	60,478	
合計	1,030,578	

(支出の部)

(単位:円)

項目	予算額	摘要
経常支出	930,000	
1. 一般管理費	230,000	
① 通信費	50,000	総会、役員会案内発送費
② 事務用消耗品費	80,000	文房具、事務用品費
③ 支払手数料	20,000	振込、振替送金手数料
④ 雑費	80,000	
2. 会議費	80,000	
① 総会費	50,000	講演料、懇親会費
② 諸会議費	30,000	役員会会議費等
3. 事業費	620,000	
① 印刷費	550,000	会報、総会案内状印刷費
② 修士記授与記念写真費	30,000	
③ 記念品費	40,000	
予備支出	30,000	
予備費	30,000	
当期支出合計	960,000	
次期繰越金	70,578	
合計	1,030,578	

*予備費の支出は、役員会の承認を得るものとする。

<第4号議案書>

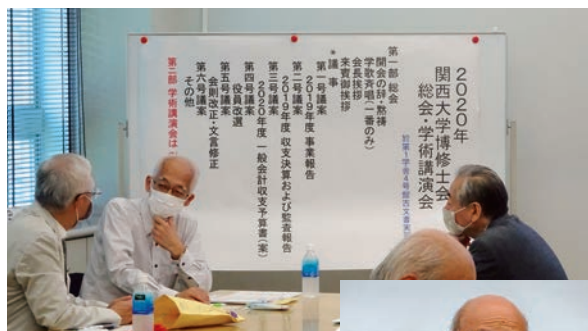
そ の 他

2020年度第68回博修士会 総会・学術講演会(報告)

2020年度の総会・学術講演会は、コロナ禍のもとでの開催であったが、感染予防とソーシャル・ディスタンスを徹底し、8月1日(土) 13時から関西大学千里山キャンパス、第1学舎4号館2階の「古文書実習室」で実施した。本会には芝井敬司学長、田中義昭校友会副会長、小谷寛子女子秀麗会会長、三木允子女子秀麗会顧問が来賓として出席された。

総会では、物故者に黙とうを捧げ、今年度は飛沫防止の観点から、学歌を参加者一同で聞くことにした。その後、芝井学長を始めとする来賓の皆様からのご挨拶を頂戴し、総会の議事に移った。会則に沿って、北嶋会長による議長進行のもとで、2019年度事業報告および2019年度収支決算報告を承認し、続けて2020年度一般会計予算、会則の変更(文言等を実態に合わせる)について決議した。今年度は役員改選の年であり、北嶋会長の再選を全会一致で承認した。また、他の役員については今後選任していくことでも了承した。

14時からは、本会の理事でもある辰巳浅嗣阪南大学名誉教授(元学長)・日本EU学会名誉会員(元理事長)による学術講演「Brexit なぜ、なんのために?—イギリスおよびEUへの影響」を行った。辰巳先生は、「イギリスはなぜ、なんのためにEUを離脱しようとしたのか、それがイギリスやEUにどんな影響を及ぼすのか、今後の日本とイギリスの関係はどうなるのか」といった諸点について、豊富な学問、経験をもとに、わかりやすく講演された。講演では、まず離脱にかかわった3人の首相の対応から説明された。そこでは、旧EC



第68回博修士会総会



辰巳先生

およびEUの中での独特なイギリスの立場やEUからの脱退条項などについて取り上げられ、国家主権や産業政策、「緊密な同盟」関係、移民政策など、ヨーロッパの主権国家の抱える問題を次々と解説された。イギリスのEUからの離脱の影響についても、イギリスにとってのメリットとデメリットを、予算分担金や安全保障、産業、対外政策、市場の面から平易に説明された。最後に、Brexit後における日本とイギリスの関係に関して触れられ、近年の気候変動問題や自国第一主義、自由貿易体制の維持などにも言及された。その後、質疑も活発に行われ大変有意義な学術講演会であった。

今年度は感染対策として、恒例の懇親会は開催しなかった。早く新型コロナウイルス感染症が終息し、再び一堂に会する懇親会で親睦を深めたいものである。(博修士会 広報部)

647名の新博修士の誕生 813名の新入生を迎える

会報表紙の北嶋会長の挨拶にありましたように、2021年も新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、3月22日開催の学位記授与式及び4月2日の大学院入学式の全体での式典を中止し、学生代表者のみ出席するオンライン中継をせざるを得ませんでした。647名の新博修士と813名の新入生の方々の努力の結果である式典を催すことができなかったことは、博修士会としても残念でなりません。

前田学長は、それぞれの式典で、「学問上でも人生でも、進むべき自分の道を見つけることが重要である。人生を謳歌するためにも、何かに挑戦し、失敗も貴重な経験となる」と

人生の門出を迎えた修了生と新入生に対して、祝意とともに伝えました。(博修士会 広報部)

事務局便り

博修士会への連絡をスマホやパソコンから手軽に行えるように、2次元バーコード(QR-Code)を作成し、学位記授与式と入学式に会報とともに配付いたしました。ご活用ください。

なお、連絡用2次元バーコードは修了生用と院生用の2種類あります。



(修了生用) <http://u0u1.net/Xeky>



(院生用) <http://urx.red/wskf>

お知らせ!

関西大学博修士会

検索



ホームページも見てください!

www2.kandai-koyukai.com/al/kandai-md/

博修士会会報 2021年号

2021年7月1日 発行

発行人 北嶋 弘一 編集人 篠塚 義弘

発行所 関西大学博修士会

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35
関西大学校友会事務局気付